

第4次府中市地域福祉計画（素案）への意見の要旨と市の考え

該当項目	意見	市の考え方
計画素案全体	書いてあることについてそのように実践できればいいと思う。市民一人一人がこの計画を読んで重要さを理解すべきだと思う。現実には町内会住民は体が動くうちは定年後も働き続けるのが普通になっており、役員の成り手がおらず行き詰まり辞められない役員は疲弊している。そういう状態でこの計画の内容を町内会や町内の自主防災組織にかかる負担を担うことができるのだからと感じる。また、40代未満の多くが町内会に加入していないという現実、町内会や町内の自主防災組織の活動に未来がもうないということを指している。自分以外の誰かがやってくれる時代はもう終わっており、住民1人1人が自分事としてこの計画を理解し担っていくことが大切だと考える。	ご意見ありがとうございます。地域の現状・課題を自分事として捉える必要があるとお考えをお持ちの方がほかにもいらっしゃるものと捉えています。 この計画を実現するためには、市民一人ひとりが自分事として捉え考え、自主的・自発的に行動することが大切だと考えます。 町内会や自主防災組織に加えて、趣味の集まり、行事への参画といった小さな活動体が力を出し合い、小さな「お互いさま」を重ねていくことができるよう、皆様とともに、全力で取り組んでまいります。
4 アンケート調査の概要 1 調査概要 ③地域防災について	日頃から関わりを持つ機会づくりや、地域の関係づくり」を行うのはどこが主体となるのか、また、その「重要性について周知・啓発に取り組む」とあるが、それもどこが行うのか？具体的に示した説明文にしてほしい。	地域の関係づくりは地域が主体となり、行政はその支援を行う必要があると考えます。 また、地域の関係づくりの重要性についての周知・啓発は、基本的には行政が行い、地域にも協力をいただきたいと考えています。 該当箇所については、アンケートの調査結果からの分析結果を記載しています。取り組みや実施主体等については、ご意見を踏まえ、第4章の施策の展開の中で明確にし、記載することとしました。